

レンタル約款

第1条 (総則)

本レンタル約款は、オリックス・レントレック株式会社（以下貸借人という）とお客様（以下借用人という）との間の測定機器等の動産（以下レンタル物件という）の賃貸借契約のうち当初のレンタル期間が12ヶ月間以下の契約（以下レンタル契約という）について、別に契約書類または取り決め等による特約がない場合に適用されます。

第2条 (レンタル期間)

レンタル期間は12ヶ月間以下とし、貸借人が借用人に対してレンタル物件を引渡した日より起算します。

第3条 (レンタル契約の延長)

レンタル期間が終了する日より5日以上前、借用人からレンタル期間の延長の申込みがあった場合、借用人はレンタル契約または本レンタル約款の違反がない限り、貸借人はレンタル契約と同条件（ただし、レンタル期間、レンタル料は除く）で貸借し、以後繰り返し延長することも同様とします。

2 借用人は、前項より借用人の延長の申し出があった場合でも、レンタル物件の修理または取替えに、過大な費用または時間を要するおそれがある場合は、レンタル期間の延長を行わないことができるものとします。第4条（レンタル料金）
借用人は貸借人に対し、貸借人からの請求により、請求書記載のレンタル料金を請求書記載の支払期限までに貸借人の指定する銀行口座振り込み方法により支払うものとします。

2 レンタル料金は、レンタル物件毎にレンタル期間1ヶ月の料金を基本料金（以下基本料金という）とし、レンタル期間に応じた次のとおりとします。

① レンタル期間が1ヶ月以上の場合
レンタル物件毎に次の算式（以下本件算式という）により算出される金額（金100円未満切捨て）の合計額とします。
なお、この場合において1ヶ月に満たない日数が発生する場合、当該日数に相当するレンタル料金については、経過月のレンタル料率（下表料率表のおお）以下レンタル料率という）を適用して本件算式に従って算出されるレンタル料に対し、1ヶ月を30日として日割計算した金額（ただし5日単位）とします。

【基本料金×レンタル料率】
② レンタル期間が1ヶ月未満の場合
レンタル物件の種類（貸借人の分類による）別に、レンタル物件毎の基本料金の合計金額に応じて以下のとおりとします。

A：電子測定器/ロジック機器/科学・環境分析機器	
合計金額	レンタル料金
金25,000円以下	レンタル物件毎の基本料金の合計金額
金25,000円超	レンタル物件毎に本件算式により算出される金額（金100円未満切捨て）の合計額（ただし、金25,000円を下回る場合は金25,000円）
B：パーソナルコンピュータ/ワークステーション系	
合計金額	レンタル料金
金10,000円以下	レンタル物件毎の基本料金の合計金額
金10,000円超	レンタル物件毎に本件算式により算出される金額（金100円未満切捨て）の合計額（ただし、金10,000円を下回る場合は金10,000円）

3 レンタル期間延長時のレンタル料金は、レンタル物件毎に総レンタル月数（既使用月数+延長月数）に応じたレンタル料率により、前項第①号の本件算式に従って算出される金額の合計額とします。ただし、当初のレンタル期間が1ヶ月未満の場合のレンタル期間延長時のレンタル料金については、別途貸借人の定める規定によるものとします。

4 第13条よりレンタル期間中に借用人がレンタル契約を解約した場合はレンタル料金は、レンタル開始日からレンタル終了日までの期間に応じたレンタル料率により算出された額とします。

5 貸借人は、レンタル期間中、経済事情の変動等により、レンタル料金を変更できるものとします。

5 前項のレンタル物件の引渡し
借用人は、レンタル物件を貸借人の指定する本国内の設置場所において引き渡します。

6 第6条 (担保責任)
借用人は借用人に対し、引渡し時においてレンタル物件が正常な性能を備えていることのみを担保し、レンタル物件の商品性または借借人の使用目的への適合性については保証しません。

2 借用人がレンタル物件の引渡しを受けた後2日以内にレンタル物件の性能の欠陥につき貸借人に対して通知をしなかった場合、レンタル物件は正常な性能を備えた状態で借借人に引渡されたものとみなします。

7 第7条 (レンタル物件の取替え)
レンタル物件の引渡し後の借借人の責めに帰すべき事由によらず、レンタル物件が正常に作動しなくなった場合、借借人は、レンタル物件を修理しまたは取替えます。

2 前項のレンタル物件の修理または取替えに過大な費用または時間を要する場合、借借人は、レンタル契約を解除することができます。

8 第8条 (レンタル物件の使用保管)
借借人は、レンタル物件を善良な管理者の注意をもって使用、保管し、また、物件が測定器等の場合は校正し、この使用、保管、校正に要する諸費用は借借人の負担とします。

2 借借人は、事前に借借人の書面による承諾を得なければ次の行為をすることができません。
① レンタル物件を第三者に譲渡し、転貸し、または改修すること。
② レンタル物件を第三者に譲渡し、転貸し、または改修すること。
③ レンタル物件に貼付された借借人の所有権を明示する標識、調整済の標識等を除去し、または汚損すること。
④ レンタル物件について貸借および譲渡担保権、その他借借人の所有権の行使を制限する一切の権利を設定すること。

3 借借人が物件の引渡しを受けてから返還するまでの間に、物件自体またはその設置、保管、使用によって第三者に与えた損害については、借借人がこれを賠償します。

4 借借人は、レンタル物件について他から強制執行その他法的・事実的侵害がないように保全するとともに、仮にそのような事態が生じたときは、直ちにこれを借借人に通知し、かつ速やかにその事態を解消させます。

9 第9条 (レンタル物件の滅失・毀損)
借借人がレンタル物件を滅失（修理不能、所有権の侵害を含む）または毀損（所有権の制限を含む）した場合は、借借人は借借人に対し、代替レンタル物件（新品）の購入代相当額またはレンタル物件の修理代相当額を支払い、なお損害があるときはこれを賠償します。ただし、借借人の責による事由の場合は、この限りではありません。

10 第10条 (レンタル物件の輸出)
借借人は、レンタル物件を日本国内で使用するものとします。

2 借借人がレンタル物件を輸出する場合、事前に借借人に通知のうえ、書面による借借人の承諾を得るものとします。これにより借借人が承諾した場合、借借人は、輸出者として日本および輸出関連諸国の輸出関連法規等に従って、輸出を行います。

3 借借人が前項にしたがってレンタル物件を輸出する場合、第7条第1項および第12条は適用されません。

11 第11条 (ソフトウェアの複製等の禁止)
借借人は、レンタル物件の全部または一部を構成するソフトウェア製品（以下ソフトウェアという）に関し、次の行為を行うことはできません。
① 有償、無償を問わず、ソフトウェアを第三者に譲渡し、または第三者のために再使用権を設定すること。
② ソフトウェアをレンタル物件以外のものに利用すること。
③ ソフトウェアを複製すること。
④ ソフトウェアを変更または改作すること。

12 第12条 (保険)
借借人は、レンタル物件に動産総合保険を付保するものとします。

2 レンタル物件に保険事故が発生した場合、借借人は借借人に対し、直ちにその旨を通知するとともに、借借人の保険金受領手続きに必要な一切の書類を遅滞なく借借人に交付します。

3 借借人が前項の義務を履行し借借人が保険金を受領した場合、借借人は借借人に対し、第9条所定の賠償義務について、受取保険金の限度でその義務を免除するものとします。ただし、借借人が第2項の通知義務・交付義務を怠り、またはレンタル物件の滅失毀損によって故意または重大過失がある場合はこの限りではありません。

13 第13条 (解約)
借借人は、特別な定めがない限り、レンタル期間中いつでも事前に借借人に通知のうえレンタル物件を借借人の指定する場所に返還して、レンタル契約を解約することができます。ただし、レンタル期間が1ヶ月未満の場合、または、レンタル期間が1ヶ月以上でレンタル期間開始後1ヶ月を経過していない場合は、レンタル契約を解約することができません。

14 第14条 (債務不履行など)
借借人が次の各号の二つに該当した場合、借借人は、催告をしないで通知のみによりレンタル契約を解除することができます。この場合、借借人は借借人に対し、未払レンタル料その他金銭債務全額を直ちに支払い、借借人におお損害があるときはこれを賠償するものとします。

- ① レンタル料金の支払を1回でも遅滞し、またはレンタル契約の各条項に違反したとき。
- ② 支払を停止し、または手形・小切手の不渡報告、もしくは電子債権の支払不能通知があったとき。
- ③ 保全処分、強制執行、滞納処分を受け、または破産、会社更生、特別清算、民事再生手続き、その他これに類する手続きの申立てがあったとき。
- ④ 営業を休廃止し、または解散したとき。
- ⑤ 営業が引続き不振であり、または営業の継続が困難であると客観的事実に基づき判断されるとき。

15 第15条 (レンタル物件の返還)
レンタル期間の満了、解除、解約その他の理由によりレンタル契約が終了した場合、借借人は借借人に対し、レンタル物件を原状に復したうえで、直ちにレンタル物件を借借人の指定する場所に返還します。なお、レンタル物件に蓄積されたデータ（電子情報）がある場合は、そのデータを消去して返還するものとし、返還を受けたレンタル物件にデータが残存する場合、残存するデータの漏洩等に起因して借借人その他第三者に生じた損害に関して借借人は一切責任を負いません。

2 借借人が第1項の義務の履行を怠った場合、借借人は借借人に対し、レンタル期間の終了日の翌日からレンタル物件の返還日まで、1ヶ月当たりのレンタル料金（基本料金）相当額の遅延損害金を支払うものとします。ただし、1ヶ月に満たない日数は1ヶ月とみなします。

16 第16条 (支払遅延損害金)
借借人がレンタル契約に基づく金銭債務の履行を遅滞した場合、借借人は借借人に対し、支払期日の翌日より完済に至るまで年14.0%の割合による支払遅延損害金を支払うものとします。

17 第17条 (消費税等の負担)
借借人は借借人に対し、レンタル期間開始時点のそれぞれのレンタル料金に対する税法所定の税率による消費税額、地方消費税額をレンタル料金に付加して支払うものとします。

18 第18条 (引渡し・返還の費用負担)
レンタル物件の引渡しおよび返還に関わる運送費等の諸費用は、借借人の負担とします。

2 運送費等の諸費用は、借借人が別途定める料とします。
3 運送費等の諸費用は、最初のレンタル料金の支払時に全額支払います。

19 第19条 (損害賠償)
借借人に故意または重大な過失があった場合を除き、いかなる場合も、借借人がレンタル契約または本レンタル約款に違反したこと起因または関連して借借人に損害を与えた場合において借借人の賠償する損害は、直接損害に限られ、間接的または潜在的に発生した損害（逸失利益や休業損害を含みます）は含まないものとし、また、第2条に定めるレンタル期間に対応するレンタル料相当額を上限とします。

20 第20条 (裁判管轄)
レンタル契約についての一切の紛争は、訴訟のいかんにかかわらず東京地方裁判所または東京簡易裁判所を第一審の管轄裁判所とすることに合意します。

21 第21条 (反社会的勢力の排除)
借借人は、現在および将来にわたり、次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、保証します。

- ① 暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団その他これらに準ずる者（以下これを暴力団員等という）
- ② 暴力団員等に経営を支配され、または経営に実質的に関与されていると認められる関係その他社会的に非難されるべき関係にある者
- ③ 自己もしくは第三者の不正利益目的または第三者への加害目的等、不当に暴力団員等を利用して認められる関係にある者
- ④ 暴力団員等への資金等提供、便宜供与などの関与を認められる関係にある者

2 借借人は、自らまたは第三者を利用して次の各号の二つにでも該当する行為を行わないことを確約します。
① 暴力的または法的な責任を超えた不当な要求を行うこと。
② 脅迫的な言動、暴力を用いる行為をし、または風説の流布、偽計もしくは威力を用いて借借人の信用を毀損し、または借借人の業務を妨害する行為

③ その他前号に準ずる行為
借借人が前2項に違反したときは、第14条第1項第①号に該当するものとし、借借人は、催告のみならず通知も行わずにレンタル契約を直ちに解除することができます。これにより借借人に損害が生じた場合にも、借借人はなんらの責任も負担しません。

22 第22条 (避難指示区域に関する特約)
レンタル物件の引渡し、設置、使用および保管は、日本国政府が定める避難指示区域（以下避難指示区域という）を除く場所で行います。

2 前項にかかわらず、レンタル物件の引渡し、設置、使用および保管が避難指示区域内の場所で行われた場合、借借人は、第15条第1項に基づきレンタル物件の返還を、貸借人が指定する避難指示区域外の場所（以下指定返還場所という）で行います。なお、借借人は、レンタル物件の指定返還場所までの移動については、借借人の責任と費用負担により行います。また、レンタル物件を取り替える場合も同様とします。

3 前項に基づきレンタル物件を返還する場合、借借人自身の責任と費用負担により、表面放射線測定（β線）による放射線測定検査を実施するものとし、実施した結果および以下の項目について、借借人の当該検査に係る責任者として確認させ、記名、捺印のうえ書面にて貸借人に通知します。

記
表面放射線測定検査を実施したレンタル物件名（型番および資産番号等）
検査日・検査場所・表面放射線測定値（β線）・検査担当者氏名

4 前項により測定された放射線測定値が、下記に定める基準値を超えたレンタル物件については、借借人は、借借人に当該レンタル物件を返還せず、別途貸借人の責任と費用負担として支払います。なお、レンタル物件については、借借人の責任と費用負担により適切に処分します。

記
表面放射線 β汚染線量 基準値：4Bq/cm²以下
β汚染線量測定については、電離放射線障害防止規則（昭和四十七年九月三十日労働省令第四十一号）に準ずるものとします。

5 借借人が、返還されたレンタル物件の受入時に当該レンタル物件の表面放射線測定検査を実施し、測定値が前項に定める基準値を超える場合、借借人はただちに借借人に通知し、借借人は、借借人の指定する金額を損害賠償として支払い、なお貸借人に損害がある場合は、これを賠償します。

6 借借人は、レンタル物件の表面放射線測定検査の測定値が第4項に定める基準値を超えたレンタル物件については、第12条は当該レンタル物件に適用されないことを確認します。

23 第23条 (特約条項)
レンタル契約について、別途書面により特約した場合は、その特約はレンタル契約と一体となり、レンタル契約を補充および修正することを承認します。

24 第24条 (付則)
本レンタル約款は、2016年10月1日以降に締結されるレンタル契約について適用されます。

【個人情報に関する事項】
第1条 個人の借借人が、レンタル契約を締結する場合、以下の条項が適用されます。

【個人情報の利用目的】
借借人は、借借人の個人情報すべてを以下の目的（以下「利用目的」という）で、利用目的の達成に必要な範囲において利用するものとし、借借人はこれに同意します。

① 機器のレンタル、販売、各種サービスの提供などの借借人の事業につき、借借人からの申込、借借人への借借人からの提案など当事者との商談に当たり、適切な対応を行うため。
② 機器のレンタル、販売、各種サービスの提供などの取引の場合の審査を行うため、ならびに借借人の本人確認に当たり、適切な対応を行うため。
③ 借借人と契約につき、借借人においてその契約の管理を適切に行うため。また、契約の終了後においても、照会への対応や法令等により必要となる管理を適切に行うため。
④ 借借人から、借借人およびオリックスグループ各社ならびにその他の会社の会社紹介、各種の商品・サービスの紹介をダイレクトメール、電子メール等により案内するため。
⑤ 借借人により商品、サービスを提供するためなど、さらなる借借人の満足のためのマーケティング分析に利用するため。
⑥ オリックスグループ各社との共同利用のため。（共同利用についてはORIXのホームページ（http://www.orix.co.jp）にてプライバシーポリシーに譲ります。）

第2条 借借人の指定する設置場所等の情報が個人情報に含まれる場合、借借人は、かかる個人情報の借借人への開示および前条の当事者を当該個人に置き換えて利用目的が達成されることにつき当該個人の同意を得るものとします。

第3条 借借人が、借借人の責任により借借人の保守サービス等に関する業務を借借人の指定する保守会社に再委託する場合、借借人は、借借人または前条の個人情報の全部または一部を当該保守会社に開示することを予め承認します。
以上

【料率表】

レンタル物件の種類 (借借人の分類による)	レンタル期間/レンタル料率(割引率)												延長により 13ヶ月以上					
	1~5日	6~10日	11~15日	16日~20日	21日~25日	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月		8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月
電子測定器/ロジック機器 /科学・環境分析機器	35% (65%)	40% (60%)	60% (40%)	75% (25%)	90% (10%)	100% (0%)	100% (0%)	80% (20%)	75% (25%)	70% (30%)	65% (35%)	60% (40%)	55% (45%)	50% (50%)	48% (52%)	47% (53%)	45% (55%)	45% (55%)
パーソナルコンピュータ/ワークステーション系	35% (65%)	40% (60%)	60% (40%)	75% (25%)	90% (10%)	100% (0%)	100% (0%)	80% (20%)	80% (20%)	80% (20%)	70% (30%)	65% (35%)	60% (40%)	56% (44%)	53% (47%)	50% (50%)	50% (50%)	50% (50%)